



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月5日

上場会社名 株式会社タムラ製作所
コード番号 6768 URL <https://www.tamura-ss.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO
問合せ先責任者 (役職名) 取締役EVP兼CFO
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3978-2111(代)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	24,446	0.2	1,093	76.2	1,415	93.1	798	
2024年3月期第1四半期	24,498	2.2	620	8.4	732	5.8	26	83.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,031百万円 (207.3%) 2024年3月期第1四半期 661百万円 (64.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	9.76	9.71
2024年3月期第1四半期	0.32	0.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	115,861	59,996	51.6
2024年3月期	114,843	57,796	50.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 59,740百万円 2024年3月期 57,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		5.00		5.00	10.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112,000	5.0	5,200	5.3	5,000	0.9	3,400	51.7	41.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	82,771,473 株	2024年3月期	82,771,473 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期1Q	1,021,193 株	2024年3月期	1,021,030 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	81,750,280 株	2024年3月期1Q	81,669,962 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における、当社グループの事業に関わるエレクトロニクス市場は、中国の景気低迷や国内外製造業で設備投資への慎重姿勢が継続したことから、厳しい状況が続きました。一方、北米などにおけるデータセンター関連需要は堅調に推移しました。その結果、当第1四半期の売上高は、244億4千6百万円（前年同四半期比0.2%減）とわずかに減収となりました。しかし営業利益は、電子化学実装事業を中心とした売上構成の改善に加え円安効果もあり10億9千3百万円（同76.2%増）と大きく伸長し、営業利益率は4.5%（同2.0ポイント増）に上昇しました。経常利益は、為替差益の拡大や持分法適用会社の好調な業績などにより14億1千5百万円（同93.1%増）と増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億9千8百万円（同30.3倍）と大幅に増加しました。なお、当連結会計年度からブラジルの関係会社を持分法適用会社に変更しています。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高を含めており、セグメント利益はセグメント間取引消去および全社費用控除前の営業利益と調整を行っています。

① 電子部品関連事業

当第1四半期は、中国市場の減速などを背景とした主要顧客の在庫調整の影響が続き、電動工具向けチャージャ、エアコン用リアクタ、および産業機械向けトランス・リアクタは低調に推移しました。一方、米国におけるデータセンター向け大型トランス・リアクタの需要は、堅調に推移しました。自動販売機向けLED製品は、第2四半期見込みからの前倒し納品などがあり、売上が伸長しました。

その結果、売上高は161億5千6百万円（前年同四半期比5.8%減）、セグメント利益は6億6千6百万円（同0.2%減）と減収減益となりました。しかしながら、価格改定の浸透や売上構成の改善により収益性は改善しており、営業利益率は4.1%（同0.2ポイント増）とわずかながら上昇しました。

② 電子化学実装関連事業

電子化学事業では、中国市場の停滞や半導体需要減速の影響が続きました。しかしながら、車載用ソルダペーストは堅調に推移し、スマートフォン向けフレキシブル基板用ソルダレジストの需要は大幅に回復しました。さらに円安が売上・利益の増加に寄与しました。一方、実装装置事業は、地政学的リスクなどによる先行きの不透明感から顧客における設備投資の中止や延期があり、売上は落ち込みました。

その結果、売上高は76億6千7百万円（前年同四半期比6.5%増）、セグメント利益は6億7千4百万円（同80.1%増）と、増収増益となりました。

③ 情報機器関連事業

前年度から延期された音声調整卓の納入などにより、売上高は6億3千4百万円（前年同四半期比208.1%増）と大きく伸長しました。しかしながら、売上構成の悪化や経費の増加により黒字転換には至らず、セグメント損失は7千6百万円（前年同四半期は1億7千万円のセグメント損失）と赤字縮小にとどまりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ10億1千8百万円増加し、1,158億6千1百万円となりました。流動資産は1億3千1百万円減少した一方、固定資産は11億4千9百万円増加しています。固定資産の増加は主に、ブラジル関連会社の持分法適用開始に伴う調整を受け、投資有価証券が増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ11億8千万円減少し、558億6千5百万円となりました。これは主に、借入金の減少によります。

有利子負債合計（短期借入金・1年内返済予定の長期借入金・短期リース債務・長期借入金及び長期リース債務の合計額）は8億8千6百万円減少し、330億1千2百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ21億9千9百万円増加し、599億9千6百万円となりました。これは主に、利益計上に加え連結範囲の変更に伴う調整もあり利益剰余金は9億6千6百万円増加し、円安を受け為替換算調整勘定が12億8千6百万円増加したことによります。この結果、自己資本比率は51.6%となりました。

（自己資本比率は、純資産より新株予約権・非支配株主持分を控除して計算した比率を用いています。）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

電子部品関連事業では、電動工具向けチャージャ、エアコン用リアクタなどの主要顧客が在庫調整局面から脱したことで足元の受注が回復してきており、年度後半に向けた増加を見込んでいます。大型トランス・リアクタは、米国データセンター向けの需要を始めとして、引き続き堅調に推移する見込です。一方、自動販売機向けLED製品は更新需要の一巡により売上が減少する見込みです。以上をふまえ、増収ながらもわずかに減益となる予想です。

電子化学実装関連事業は、電子化学事業において、車載用のソルダーペーストおよびソルダーレジスト、スマートフォン向けフレキシブル基板用ソルダーレジストの堅調な需要の継続が見込まれます。半導体関連市場も年度の後半に回復すると想定しています。一方、実装装置事業は、中国市場における顧客の投資抑制傾向の継続や他の地域での更新需要の停滞により、厳しい状況が継続する見込みです。しかし、電子化学実装事業としては増収増益となる予想です。

情報機器関連事業では、放送局の更新需要に伴う次世代音声調整卓の販売が見込まれることなどから増収予想ですが、売上構成の悪化や経費の増加により減益を見込んでいます。

以上の見通しをふまえて、2025年3月期の通期連結業績予想については、2024年5月10日に発表した予想を据え置きます。当社グループでは、引き続き中期経営計画「Energize the Future 100」で掲げる、事業成長と効率改善への取り組みを推進し、企業価値の向上に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,481	19,505
受取手形、売掛金及び契約資産	26,824	24,096
電子記録債権	699	754
商品及び製品	8,026	8,340
仕掛品	2,524	2,759
原材料及び貯蔵品	13,286	12,855
その他	2,989	3,388
貸倒引当金	△22	△22
流動資産合計	71,809	71,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,256	25,733
減価償却累計額	△13,408	△13,838
建物及び構築物 (純額)	11,848	11,895
機械装置及び運搬具	21,333	21,972
減価償却累計額	△15,564	△16,092
機械装置及び運搬具 (純額)	5,769	5,879
工具、器具及び備品	10,532	10,768
減価償却累計額	△8,778	△8,947
工具、器具及び備品 (純額)	1,754	1,820
土地	5,395	5,413
リース資産	6,945	7,463
減価償却累計額	△2,663	△2,990
リース資産 (純額)	4,281	4,472
建設仮勘定	802	862
有形固定資産合計	29,851	30,345
無形固定資産		
のれん	203	198
リース資産	161	192
その他	740	728
無形固定資産合計	1,106	1,119
投資その他の資産		
投資有価証券	7,091	7,762
退職給付に係る資産	3,914	3,909
繰延税金資産	515	411
その他	639	722
貸倒引当金	△85	△86
投資その他の資産合計	12,075	12,718
固定資産合計	43,033	44,183
資産合計	114,843	115,861

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,600	8,830
電子記録債務	3,841	3,646
短期借入金	16,152	15,985
1年内返済予定の長期借入金	2,324	4,330
リース債務	816	878
未払法人税等	566	409
契約負債	201	238
賞与引当金	1,234	553
役員賞与引当金	38	16
その他	3,501	3,657
流動負債合計	37,278	38,547
固定負債		
長期借入金	11,237	8,262
リース債務	3,368	3,554
繰延税金負債	2,022	2,256
退職給付に係る負債	2,496	2,593
株式給付引当金	21	24
役員株式給付引当金	6	7
その他	615	619
固定負債合計	19,768	17,318
負債合計	57,046	55,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,829	11,829
資本剰余金	17,032	17,032
利益剰余金	20,745	21,711
自己株式	△543	△543
株主資本合計	49,064	50,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,191	1,179
為替換算調整勘定	6,020	7,306
退職給付に係る調整累計額	1,263	1,223
その他の包括利益累計額合計	8,475	9,710
新株予約権	141	141
非支配株主持分	114	113
純資産合計	57,796	59,996
負債純資産合計	114,843	115,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
売上高	24,498	24,446
売上原価	18,045	17,432
売上総利益	6,452	7,014
販売費及び一般管理費	5,832	5,920
営業利益	620	1,093
営業外収益		
受取利息	13	24
受取配当金	60	28
為替差益	131	166
持分法による投資利益	80	157
その他	84	213
営業外収益合計	371	590
営業外費用		
支払利息	230	254
その他	28	13
営業外費用合計	258	268
経常利益	732	1,415
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	9	—
特別利益合計	10	1
特別損失		
固定資産除売却損	20	4
投資有価証券売却損	2	—
特別損失合計	22	4
税金等調整前四半期純利益	720	1,412
法人税、住民税及び事業税	259	253
法人税等調整額	430	364
法人税等合計	690	617
四半期純利益	29	795
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	26	798

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	29	795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221	△12
為替換算調整勘定	369	1,137
退職給付に係る調整額	△14	△39
持分法適用会社に対する持分相当額	54	151
その他の包括利益合計	631	1,236
四半期包括利益	661	2,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	660	2,032
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

当社は、従来、振当処理の要件を満たす為替予約等については振当処理を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間から振当処理を行わず、原則的な処理方法、すなわち、期末に時価評価を行い、評価差額は損益とする方法に変更しました。

これは、会計システムの刷新に伴い、為替予約等に対する管理運用方法の見直しを行い、デリバティブ取引の状況をより適切に連結財務諸表へ反映させるためです。

なお、当該会計方針の変更が過去の期間に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っていません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,152	7,142	203	24,498	—	24,498
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	59	2	61	△61	—
計	17,153	7,201	205	24,560	△61	24,498
セグメント利益又は 損失(△)	667	374	△170	871	△251	620

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△251百万円には、セグメント間取引消去3百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△255百万円が含まれています。全社費用は、本社部門負担の未来開発研究費用および基幹システム更新費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	電子部品 関連事業	電子化学 実装関連 事業	情報機器 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,154	7,658	633	24,446	—	24,446
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	8	0	11	△11	—
計	16,156	7,667	634	24,457	△11	24,446
セグメント利益又は 損失(△)	666	674	△76	1,264	△170	1,093

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△170百万円には、セグメント間取引消去6百万円及び各報告セグメントに配賦していない全社費用△176百万円が含まれています。全社費用は、本社部門負担の未来開発研究費用および基幹システム更新費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	915百万円	1,011百万円
のれんの償却額	11	13

(重要な後発事象)

該当事項はありません。